

Resilience: 困難を乗り越える力

# レジリエンス マップ

## 「らしさ」を育て「つまずき」を乗り越えさせる

レジリエンスは意図的・計画的に育てる

子どもは  
つまずきながら成長します。

思春期: 恋愛や進学などでのつまずき

児童期: 勉強でのつまずき

幼児期: 集団でのつまずき

(乳児期: 絶対につまずかせない)

思春期らしさを理解する

子どもらしさを発揮させる

幼児らしさを使い切らせる

赤ちゃんらしさを大切にする

親の役目は

- ① 挑戦させる!
- ② 見守る!
- ③ 励ます!

失敗し  
たってい  
いから!

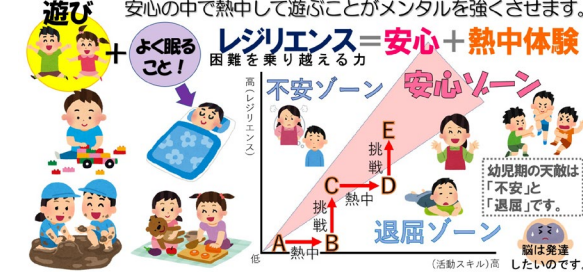


1年生になったら10のうちの1つくらいは自分で決めさせる。

2年生で2つ  
3年生で3つ...

PHPカセットテープ集『向山型教え方教室』第1集より

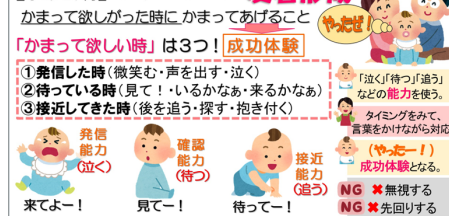
【幼児期のキーワード①】めいっばい遊ぶ!



【幼児期のキーワード②】様々な遊び・体験



【乳児期】のキーワード 愛着形成



愛着形成は何か何でも重要です。



【逆境体験】①親や家族からの身体的虐待、②精神的虐待、③性的虐待、④ネグレクト、⑤精神的ネグレクト、⑥DVの目撃(母親の被害)、⑦同居家族の精神疾患、⑧同居家族の犯罪、⑨同居家族の薬物やアルコール依存、⑩両親の離婚や別居



【学校での授業の本質】

1. 学び方を身につける授業
2. 楽しい授業
3. 将来役立つことが実感できる授業

(東京大学社会科学研究所・ベネッセ「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」)

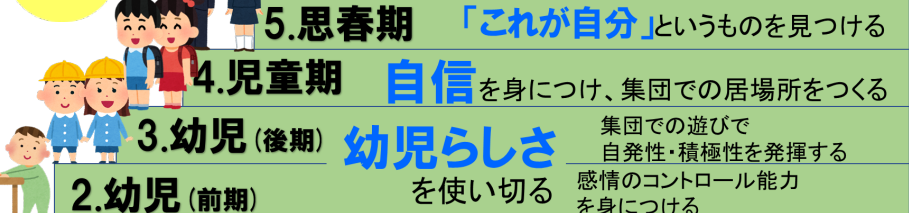
【望ましい学校風土】(和久田学「JaScJ」)

1. 一人一人の違いを大事にしている
2. 友達との活動が楽しい
3. 先生との関係がいい
4. 自信を持たせてくれる
5. いじめなどを注意してくれる

win three

世代別発達課題(LIFE SHIFT 100)

これらは「順序」であり、クリアすべき「課題」です。



1. 乳児期 愛着形成に成功して人生の土台をつくる

反対に「PCE(子ども時代のポジティブな体験)」は成長後もレジリエンス(困難を乗り越える力)を保障することがわかっています。

【PCEの7項目】(Positive Childhood Experiences and Adult Mental Health)

1. 家族と「自分の気持ち」についての会話ができた
2. 困難な時に家族が自分のそばにいてくれた
3. 地域のイベントに参加して楽しんだ
4. 中学・高校で所属意識を感じられた
5. 友達から助けもらった
6. 親以外に少なくともの二人以上の大人が自分を理解してくれた
7. 自宅が安心安全な居場所になっていた



社会は変化しているんだよ。

win-win-win と well-being が大切



昔 自分のため、学歴のため 将来困らないため

今 社会で役立ちたい! 困っている人を助けたい! 自分にしかできないことをしたい!



200年前

昭和・平成

現代



身分制社会



学歴社会



自己実現社会